

適正な入札の見張り番 使命感を持って審査行う

―南丹市入札監視委員会―

6月27日、市役所で南丹市入札監視委員会（松村雅司委員長・京都学園大学教授）が行われました。同委員会は、公共工事の入札・契約の執行における透明性を図るため、学識経験者や市議会議員ら5人で構成。年2回（6月、11月）、市が行った公共工事などの入札が、適正に執行されているか審査が行われます。市担当者から入札・契約の近況説明を行った後、委員が抽出した案件10件について審議が行われました。



▲「使命感を持って審査にあたる」とあいさつされる松村委員長



▲ふるさとの環境を守る施設の完成を祝い、通水する関係者ら

美山川の清流をいつまでも 生活排水の処理施設が完成

―農業集落排水事業
宮島・大野地区竣工式―

農業集落排水事業宮島・大野地区の竣工を祝い、6月30日に弓立浄化センターで通水式などを行いました。

下水管路、処理場など地区全体の総事業費は6億3、800万円。処理計画人口は390人で宮島・大野地域の生活排水を処理します。これで美山地域で計画した6処理区すべてが完成し、市全域で下水道処理区は24カ所、浄化槽を含む整備率は96%になりました。

安心でおいしい茶をどうぞ 良質な茶の生産に取り組む

―第59回両丹茶品評会褒賞授与式―

両丹地区で生産された茶の品評会として毎年開催される両丹お茶まつり。今年は南丹市が開催地で、7月30日に市国際交流会館で品評会褒賞授与式を行いました。

南丹市からは3人が煎茶の部に出品、美山茶業組合の組合長を務める小寺久和さんが会長賞の3等賞に入賞されました。小寺さんは、美山で茶業が始められた当初から約50年間携わってこられ、今後は質の高い玉露の生産にも取り組みたいと語っていただきました。



▲今回会長を務めた佐々木市長（左）と入賞された小寺さん（右）



▲調印した5者（前列）と地元区長ら関係者（後列）

企業が参画、森を元気に みんなで守り、育てよう

―「森林の利用保全に
関する協定」調印式―

京都の森を守り育てる「京都モデルフォレスト運動」に、総合分析機器メーカーの株式会社島津製作所（京都市中京区）が参画されるにあたり、8月4日、平安会館で京都府、南丹市、八木町観光協会、社団法人京都モデルフォレスト協会との調印式が行われました。

株式会社島津製作所は、八木町玉ノ井大鳥羽に約52畝の「島津製作所の森」づくりに取り組み、広葉樹などの植樹や手入れ、環境学習などが行われる予定です。